

### Ⅲ. 平成26年度活動計画(案)について<協議>

#### 1. 方針

- ①修学旅行の教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化を追究し、より良い形の修学旅行の実施を目指す。
- ②連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- ③関係機関・団体と連携・協議し、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

#### 2. 活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行の展開を目指す。

#### 3. 活動の大綱

##### (1) 会議等の日程案

	会議名	予定内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定	6月4日(水)	13:30 ～ 15:30	東京国立博物館
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月3日(金)		奈良まほろば館
	第3回	輸送計画の確認・微調整と決定	11月6日(木)		東京国立博物館 (予定)
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月13日(金)		
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月26日(木)		
研究委員会	第1回	調査研究内容の検討	6月4日(水)	11:00 ～ 15:30	東京国立博物館
	第2回	データの分析・考察	10月3日(金)		奈良まほろば館
	第3回	データの分析・考察、まとめ	11月6日(木)		東京国立博物館 (予定)
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月26日(木)		
第50回研究発表会		実践研究発表、講演等	11月21日(金)	13:30～ 16:30	宇都宮市・ ホテルニューイタヤ
全修協	第31回全国修学旅行研究大会 (修学旅行の理論・研究実践発表、講演)		7月29日(火)	13:30～ 17:00	東京・ グランドヒル市ヶ谷
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会 (修学旅行に関する意見・情報交換)		平成27年 1月22日(木)	14:00～ 16:00	(東海地区)

- <会議出席>・ 役員代表者会(各県2名、定数11名):役員、各県委員長(部長)、研究委員長
- ・ 総会・研究協議会(各県4名、定数20名):役員、運営委員、研究委員
  - ・ 研究委員会(各県2名、定数10名):研究委員、運営委員1名兼務
  - ・ その他政令指定都市校長会(さいたま市、千葉市)から役員1名参加

##### <県別分担事項一覧>(平成26年度～30年度)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
会長選出県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県
運営委員長	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県
〃副委員長	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県
研究委員長 研究発表県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県

(2) 連合体計画輸送

1) 平成26年度計画輸送の実施

① 申し込み状況

平成26年度修学旅行専用列車の申し込み状況

(単位：校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増 減
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	40	5,900	91	12,040	18	1,598	213	36,067	120	19,240	482	74,845	5
B	80	9,936	16	1,354	15	617	37	3,946	26	2,919	174	18,772	-10
C	0	0	1	193	0	0	55	9,421	45	7,881	101	17,495	4
D広島	1	159	4	470	2	118	1	104	0	0	8	851	-6
秋季C	0	0	0	0	0	0	15	3,133	0	0	15	3,133	0
<b>合計</b>	<b>121</b>	<b>15,995</b>	<b>112</b>	<b>14,057</b>	<b>35</b>	<b>2,333</b>	<b>321</b>	<b>52,671</b>	<b>191</b>	<b>30,040</b>	<b>780</b>	<b>115,096</b>	<b>-7</b>
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	1	180	1	180	0
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	6	637	6	637	1
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7</b>	<b>817</b>	<b>7</b>	<b>817</b>	<b>1</b>
<b>総合計</b>	<b>121</b>	<b>15,995</b>	<b>112</b>	<b>14,057</b>	<b>35</b>	<b>2,333</b>	<b>321</b>	<b>52,671</b>	<b>198</b>	<b>30,857</b>	<b>787</b>	<b>115,913</b>	<b>-6</b>
対前年	-2	-55	-2	-353	1	-99	-1	134	-2	-455	-6	-828	

② 割付け日程茨城県

コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	D広島	東北・山形	長野
5/8～7/9 63日間 74,845名 1日平均1,188名 1日最大1,241名 1日最少1,108名	5/28～6/14 18日間 18,772名 1日平均1,043名 1日最大1,067名 1日最少964名	春 5/8～6/28 52日間 17,495名 1日平均337名 秋 9/12～9/25 13日間 3,133名 1日平均241名	5/13～6/12 8日間 851名 1日平均 107名	5/21 1日間 180名 1日1校	5/14～6/4 4日間 637名 1日平均 160名

2) 平成26年度出発式(関東地区公立中学校修学旅行出発式)

・日時—平成26年5月8日(木)午前7時25分～7時35分

・7時47分東京発「のぞみ号」乗車校

- ・結城市立結城東中学校
  - ・桜川市立岩瀬東中学校
  - ・小山市立小山城南中学校
  - ・小山市立豊田中学校
  - ・日光市立豊岡中学校
  - ・茂木町立茂木中学校
  - ・印西市立木刈中学校
  - ・習志野市立第七中学校
  - ・佐倉市立臼井中学校
- の9校

\* 関修委を代表しての挨拶は、栃木県修学旅行部長の塩田校長先生が行いました。

### 3) 計画輸送の利用校拡大

平成26年度も引き続き、組織・活動への理解を得るため、関修委PR用リーフレットをもとに各学校への啓発に努める。

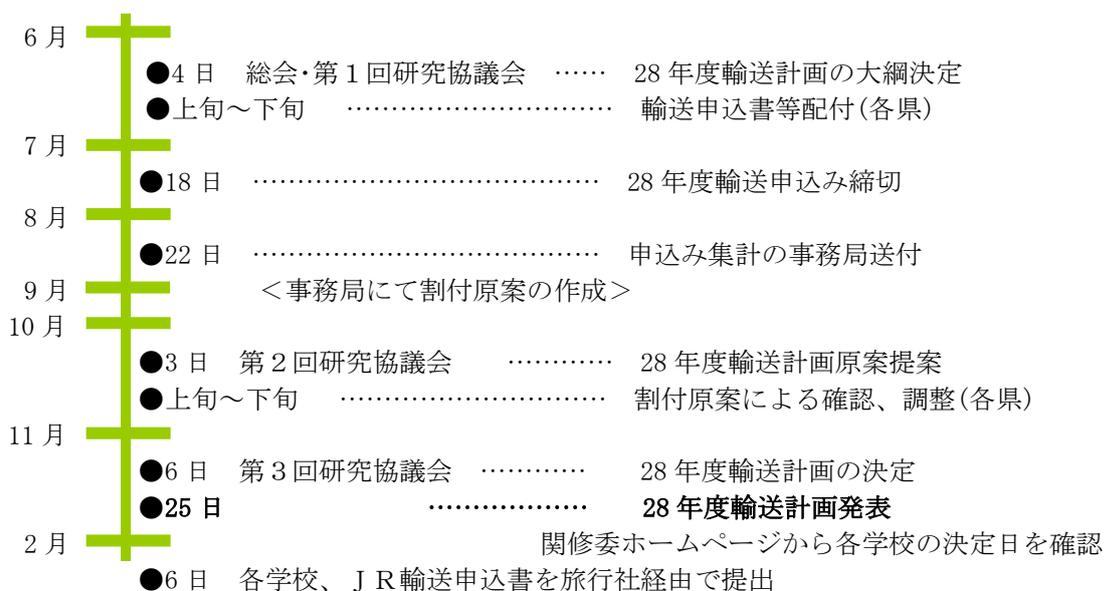
### 4) 平成28年度修学旅行の計画輸送策定

計画輸送（連合体）の理念、必要とされる理由を徹底し、各校が協力し合い全ての中学校が円滑に修学旅行を実施できるように。

ほとんどの学校が5月中旬実施を希望→関修委の役割一平準化。

- ①Aコース希望で、東京近郊の学校は、出来るだけCコースへ
- ②東京都、神奈川県中学校長会が走らせている専用列車と関修委の専用列車の相互利用の可能性を探り、JRへ働きかける。
- ③Bコースを魅力あるものするための方策を研究する。
- ④利用申込みの段階で、東京駅までの継走を明確にする。
- ⑤東北、上越、長野方面の新幹線利用の拡大を図る。
- ⑥広島修学旅行列車の設定に伴い、引き続きPRに努める。  
\*東京発の時間帯の繰り上げや制限人数の増加について、JRへ継続して交渉する。
- ⑦申込み書の記入一乗車駅・降車駅、継走の利用予定等、丁寧に記入を。

#### ◎割付け・組み合わせから発表までの手順



### 5) その他

### (3) 研究調査活動

#### 1) 研究調査の継続と充実

#### 2) 第50回修学旅行研究発表会の開催

・日時 平成26年11月21日(金) 13時00分～16時25分

・会場 ホテル ニューイタヤ

宇都宮市大通り2-4-6 TEL028-635-5511

#### 3) 現地視察会

修学旅行の充実のために先生方の現地視察・研修を重視する。

① 広島方面修学旅行現地研修会—平和学習の専門的知識・技術の習得、体験型学習について  
平成26年8月20日(水)～8月22日(金)

② 神戸・琵琶湖方面修学旅行現地研修会—震災、防災学習と体験活動や宿泊施設見学  
琵琶湖付近の歴史と体験学習、宿泊施設見学

平成26年8月3日(日)～8月5日(火)

※ 各県からそれぞれ2名以上の参加をめざす。

※ 奈良県修学旅行モニターツアー：(新しい古都の旅)

平成26年8月7日(木)～8月8日(金)

#### 4) 修学旅行資料「関西の旅」の利用推進

関東地区公立中学校修学旅行委員会の編集・監修による「関西の旅」の利用促進を図る。  
各学校の修学旅行のしおりと共に製本する方法も可能であり、併せてPRする。

#### 5) その他

### (4) 陳情・要請活動

#### 1) 平成27年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

平成26年度修学旅行費等の国庫補助金の決定額(単価・円)

行事	学校種別	26年度決定額	27年度要望額	
修学旅行	中学校	57,290	57,500	
	小学校	21,190	21,400	
校外学習	中学校	宿泊あり	6,010	6,100
		宿泊なし	2,240	2,300
	小学校	宿泊あり	3,570	3,600
		宿泊なし	1,550	1,600

#### 2) 計画輸送に関する改善要望

##### 重点要望

- ①東京駅までの継走特急列車の割引をお願いしたい。
- ②各駅の団体客の集合待機場所の確保をお願いしたい。
- ③専用列車広島便の東京発時刻の変更(早い時間帯)、定員増をお願いしたい。

#### 3) その他

### (5) 他団体との連携

#### 1) 公益財団法人全国修学旅行研究協会との連携

第31回全国修学旅行研究大会

平成26年7月29日(火) ホテルグランドヒル市ヶ谷

#### 2) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会の参加

平成27年1月22日(木)頃 東海地区予定

## (6) その他

- 1) 情報・資料の提供・発信
- 2) 関修委・全修協のホームページの活用
- 3) 各県と事務局とのEメールの活用推進

## 4. 予 算

### (1) 平成26年度支出予算案

(円)

科 目	費 目	予算額	前年予算額	増・減(△)	摘 要
会 議 費	総会・研究協議会 ・研究委員会	650,000	650,000	0	会場費、交通費
	研究発表会	800,000	600,000	200,000	会場費、設営費、資料作成費、反省会費
旅費交通費	事務局交通費	150,000	113,900	36,100	出張交通費
通信運搬費	通信運搬費	66,900	50,000	16,900	会議案内、資料送付等郵便・宅急便料金
印刷製本費	印刷費	350,000	300,000	50,000	輸送計画関係書類、調査研究関係印刷物
助 成 費	各県活動運営費	783,100	786,100	△3,000	各県修学旅行委員会助成金
支出合計		2,800,000	2,500,000	300,000	

### (2) 各県修学旅行委員会(部)への活動助成金

関修委より、各県修学旅行委員会(部)の活動運営費(会議費、郵送・通信費、事務費等)の一部として助成する。なお、各県は助成金の支出報告を毎年度行うものとする。

#### ア. 県助成金算出基準

算出式  $\frac{\text{定額(全設置校対象)}100,000\text{円} + (\text{連合体参加校数} \times 300\text{円})}{\text{連合体参加校数}}$

※研究発表県には、50,000円を調査研究費としてプラスする。

※連合体参加校数は25年度第4回研究協議会開催日時点(27年度計画校)の校数。

(校、円)

県 名	定 額 (A)	連合体校数	利用校金額 (B)	研究発表県 調査研究費 (C)	助成金額合計 (A) + (B) + (C)
茨城県	100,000	121	36,300	—	136,300
栃木県	100,000	110	33,000	50,000	183,000
群馬県	100,000	34	10,200	—	110,200
埼玉県	100,000	317	95,100	—	195,100
千葉県	100,000	195	58,500	—	158,500
合 計	500,000	777	233,100	50,000	783,100

## 5. その他

定例研究協議会での「講話」について

- 第1回 「関西の旅の活用方法」
- 第2回 「再発見奈良」
- 第3回 ～JRとの意見交換会～
- 第4回

教材研究所

奈良県

(第4回は検討中)

## IV その他

- 1) 関修委専用 E-mail アドレス。メールの活用を図る。
- 2) その他